

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 100	提案機関名 神奈川県 水源環境保全課
要望問題名	被害状況に合わせたナラ枯れ被害の効果的な防除方法の検討
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	<p>平成29年、神奈川県内において、カシノナガキクイムシ（以下、「カシナガ」という。）という昆虫が媒介する「ナラ菌」という病原菌によって、コナラ等のナラ類やシイ・カシ類の健全な樹木が枯死する現象である「ナラ枯れ」が初めて確認された。その後、ナラ枯れの被害は急速に拡がり、令和3年度には開成町を除く県内全域に拡大している。</p> <p>被害対策ガイドラインにおいて、安全面の確保を最優先に景観面の保全や歴史的・文化的価値の保全を優先した被害対策を行うこととしている。そこで、現在は安全面の確保として道路や建物、公園に影響を及ぼす箇所の駆除を中心に実施しているが、周辺の被害状況によってカシナガの密度も変わることやカシナガの一部の個体は気流に乗って遠距離の飛翔（移動）を行っていることから、景観面の保全や歴史的・文化的価値の保全を図っていくためには、安全面の確保の場合とは異なった被害対策が必要と考えられる。</p> <p>このため、被害状況に合わせた効果的な被害対策について検討することを要望する。</p>
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) ナラ枯れ対策の支援		
対応の内容等	<p>ナラ枯れが全県的に蔓延した現状では、被害を抑える水準までカシノナガキクイムシを駆除することは困難なため、景観面や歴史的・文化的価値の保全を図るには、特に守りたい木や森林に対して重点的な予防対策を行うことが現実的な対策方法となります。予防法としては、すでに殺菌剤の樹幹注入やビニールシート被覆など様々な手法が開発されていますので、これら手法を用いた実技研修や相談対応を通じて、景観面や歴史的・文化的価値の保全に向けた対策の技術支援を図ってまいります。あわせて、景観面や歴史的・文化的価値の保全の観点から、ナラ枯れ被害を激しく受けた森林において森林の機能回復を図る必要がある場合、更新を促進し、森林を再生するためのシカ対策など各種対策についても技術支援を図ってまいります。</p>		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			